

北谷町立北谷第二小学校 学校だより 第3号 令和5年6月29日(木)



北ニっ子

〒904-0103
北谷町字桑江567-1
☎ 098 (936) 2511
発行者：北谷第二小学校
校長 知念 哲也

学校目標：郷土に誇りを持ち 自らを切り拓く強い意志と 豊かな心を持つ子の育成

平和のバトンをつなぐ～慰霊の日に向けた取り組み～



今年、沖縄戦終結から78年目を迎えます。戦争体験者から、直接、お話を聞く機会が減っていく中、世界情勢に目を向けると、ますます次の時代を担う子供達に平和の尊さを伝えていくことの重要性を感じます。

本校では、6月22日(木)に低・中・高学年の3つに分けて平和集会を行いました。低学年では、読み聞かせボランティア「ひだまりの会」による平和に関する絵本の読み聞かせを行いました。保護者や地域の方々の読む絵本を通して、1・2年生の子供たちが平和について考えることができました。中・高学年では、平和学習を広く手がける株式会社「さびら」をお招きし行いました。「さびら」さんによる平和学習では、ワークショップを中心に進め、子供一人一人が戦争や平和を自分の言葉で表現し伝えていけるように深く考える取り組みを行いました。具体的には、沖縄戦経験者が描いた絵を用いて、子供たち同士がその絵から読み取れる沖縄戦の様子を自分の言葉で語り合い、戦争の恐怖、そこに描かれた人々の悲しみや無念さを感じとっていき流れのワークショップでした。平和集会を進行した「さびら」の野添侑麻(のぞえゆうま)さんは、会場に集まった子供たちの声を丁寧に拾い上げながら、子供たちが話す言葉で戦争の恐怖を伝え、平和の尊さや次世代にバトンをつないでいく大切さを共有させていました。



6年生、平和祈念資料館の見学へ

6年生は「総合的な学習の時間」を利用し、6月20日(火)に沖縄県立平和祈念資料館を訪れました。出発の前日までは事前学習を済ませていたこともあり、見学当日はそれぞれのグループに分かれ、ワークシートを片手に調べ学習を展開していました。

【学習内容】

沖縄戦への道→住民の見た沖縄戦「鉄の暴風」→「地獄の戦場」→体験者の「証言」→太平洋の要石(かなめいし)から平和の要石へ
※展示室の展示内容に沿って調べ学習が展開されました。

展示された資料を読み進め、友達と協力しながら学びに向かう6年生の姿は誇らしいものがありました。上記に記載した平和集会でも、資料館での学びを生かしながら発言している6年生も多く、子供たちは、それぞれに沖縄戦を学び、平和の尊さを伝えていくことの大切さ学んでいると感じました。



北谷町めぐり ～自治会長さんにお聞きしました～

3年生は社会科の学習で自分たちの町である北谷町の学習を進めています。これは身近な地域である北谷町について調べ理解することで、自分たちの生活している地域社会に対する誇りと愛情を養うことを目的に行われています。5月中旬から6月始めにかけては北谷第二小校区3つの自治会を訪問しました。それぞれの自治会長さんからは、自治会が行っている様々な取り組みや公民館施設の様子、自治会長さんの願いなどを学びました。栄口区の島袋艶子自治会長さん、桑江区の宮平俊治自治会長さん、上勢区の仲栄真盛一さん、3つの自治会とも大歓迎していただき、子供たちの学びが充実できました。ありがとうございました。



校内研修 「救急救命訓練」

本校では、毎年6月にはプール開きがあり、水泳学習が始まります。その時期に合わせ、学校では、毎年、校内研修にて救急救命訓練を行っています。

6月5日(月)には、中部徳州会病院の先生を講師にお迎えし、全職員が参加しての訓練を実施しました。訓練内容は、AEDの使い方や胸骨圧迫による心肺蘇生法、エピペン（アナフィラキシーショック補助治療薬）の使い方です。



校長講話から



6月の講話は、運営委員会のみなさんが毎日正門前で取り組んでいるあいさつ運動と「北二つ子タッチ」にいての協力を呼びかけました。みんながなかよくなることを目的に取り組んでいる「北二つ子タッチ」ですが、今年の運営委員会が考え、そしてネーミングした取り組みです。講話後半では慰霊の日に触れ、平和について、今、自分にできることを考える内容の講話をしました。